

令和6年度 富岡地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

一総括表一

◆ 事業計画

□ 地域の現状と今後の方針

○担当地区の高齢化が進み、高齢化率は市や金沢区の平均を上回っています。一人暮らしや高齢者世帯の増加も進んでおり、長年活動を続けてきた地域団体やボランティアの高齢化など他地区と同様の悩みがあります。山坂の多さも高齢者を悩ます大きな要因となっています。

○町内会等地域団体を基礎とする活動は活発に行われており、地域のコミュニティーは確保されています。民生・児童委員などによる福祉保健活動も活発です。そこでこのような地域団体等との情報交換や地域課題を考える各種の会合を通じて人材の発掘確保・地域課題の抽出などに取り組み、必要な支援を地域ともに考えています。

□ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
		ランタナの会にて認知症サポーター養成講座を開催していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	健康をテーマとした連続講座を開催、広い世代に向け体力維持や介護予防について啓発し、理解を促す。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		中学校と連携し地福計画ワークシートの活用を目指す。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	医師による認知症講座を開催し認知症の理解を深め、認知症の早期発見・認知症予防に務める。また、既存の地域事業への参加を広く地域住民に働きかけていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		地域のサロンやシニアクラブ、体操教室でチームオレンジ事業のステップアップ講座を開催していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

- ・ランタナの会と協働し認知症サポーター養成講座を2回開催した。(区役所職員と近隣小学校の4年生)
- ・健康をテーマに連続講座とすることで参加者の動機付けや参加意欲の向上につなげることができた。
- ・参加者の年齢層はほぼ高齢者であったものの、この事業をきっかけにケアプラザを知っていただいた方もいた。
- ・地福計画のワークシート活用について、エリア内に2校ある中学校との連携が行えた。今後も継続して行えるように学校関係者との連携を図り相互理解に務めたい。
- ・既存の地域事業への参加を働きかけるだけでなく、通い続けられるよう個別に支援を行った。個別対応をすることで個々の事情を加味した丁寧な支援が行え、参加継続という課題の解決につなげることができた。
- ・地域主催の体操教室にてステップアップ講座を開催。認知症の理解を深めた。もともと行えていた見守り活動に認知症の専門的な視点が加わる事で支援者の不安軽減や包括職員との連携につなげることができた。

□ 区からのコメント

個別のニーズに丁寧に対応し、信頼関係を積み重ねていただくことで、結果として幅広い層の住民が地域ケアプラザに集い、住民同士のつながりが生まれています。また、実際にまちを歩いて社会資源マップを作られたり、地域の活動にも積極的に訪問・参加されるなど、地道な活動の積み重ねが、正確な地域アセスメントだけでなく、潜在的なニーズをキャッチすることにもつながっています。

山坂が多く、ケアプラザに来ること自体ハードルが高いといった課題に対し、出張での講座開催などを実施され、エリアの高齢者の介護予防や心身機能の向上に務めていただきました。民生委員とケアマネージャーとの連携を意識された取組は、地域で活動される方たちの不安軽減につながるとともに、ご近所でのゆるやかな見守りが広がるための土壤づくりとなっていると思います。

民間企業の上手な活用方法や、中学生向けワークシートの取組のノウハウなど、ぜひ横展開していただきながら、引き続き地域を元気にする福祉保健の拠点として取り組みを推進していただきますようお願いいたします。